



市長と語ろう！ 令和5年度開催

ちくせい市政懇談会

須藤市長が市政の課題を市民のみなさんと一緒に考え、知恵を出し合う市政懇談会を実施しました。みなさんからの貴重なご意見・ご提案は、今後、市政の参考とさせていただきます。

【問】 広報広聴課（本庁4階） ☎ 24-2172



テーマ

義務教育学校・学校統合について

市自治会連合会

開催日：2月15日 / 会場：アルテリオ

Q 児童減少への対策や、若者が地元に戻りたくなるような対策は。

A 市全体で、さまざまな子育て支援を行っているほか、教育面では、学校給食費の無償化などがある。また、「明野五葉学園」としては、郷土愛教育に力を入れ、将来地元を離れても、郷土に対する愛着を感じ、戻りたいと思われるようにしていきたい。

Q 心の不調をきたす先生も多い。負担を減らす環境づくりは。

A 教員にとって一番大切なのは、児童・生徒とのふれあいの時間を持つことだ。そのために、他のところで、少しでも負担を減らせるように取り組んでいる。

Q 今後も小中一貫校設立は推進されるのか。具体的な方針は。

A 義務教育学校の設置を目指し、適正規模・適正配置を考えていくという方針が定まっているところ。基本的には義務教育学校を目指していくが、子ども達の減少スピードが想定よりも早いため、前段として小学校の統合も選択肢の一つとして考えている。今後は保護者アンケートの結果や「学校の在り方検討委員会」からの答申などを踏まえ、協和地区で検討を進めていく。



テーマ

旧公民館・地域集会施設について

大田公民館利用団体など

開催日：3月14日 / 会場：大田公民館

Q 公民館は休館日に使用できなかったが、地域集会施設はどのようなルールか。

A 地域集会施設は、管理する自治会のルールに沿って使用していただきたいと思う。コミュニティセンターについては、これまでどおり。

Q 関城地区の2つの公民館（河内・黒子）がペアーノに集約された。活動場所が減ってしまうのでは。

A 事務所機能をペアーノに集約した。河内・黒子公民館は耐震基準を満たしていないことから、解体を進めている。そのため、地域集会施設との連携を先駆けて開始し、例えば黒子公民館の代替施設として2つの集落センターをお借りしている。

Q 地域集会施設を使用できるようにした理由は、公民館の利用者が多く飽和状態ということか。

A そういう理由ではない。公民館まで遠く、交通手段が無いなどで、活動が制限されている人が多いのではないかと想定した。身近な場所で活動できれば、活動の幅が広がるとともに、地域活動に参加するきっかけが増えるのではないかと考えている。

